

YMCA News



「LOVE ON THE RUN」

全国のYMCAでは、心身に障がいのある子どもたちを対象として、いくつかのプログラムを実施しています。「チャリティーラン」は、これらの活動を実施するための支援金を集めることを目的としたチャリティーマラソン大会です。とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーランは、2006年7月2日に第1回大会が栃木県総合運動公園陸上競技場で開催されました。競技場の改修工事や新型コロナウイルス感染症の影響などで会場変更やバーチャルでの開催、また第19回大会は台風の影響で初の中止を決断するなどを経て、第20回大会を開催する運びとなります。

チャリティーランは駅伝式レースです。各チームが競うと同時に、心身に障がいのある子どもたちを支援することの大切さを分かち合うというものです。大会は、ボランティアによって運営され、参加者一人一人がこの大会を支え、参加費は子どもたちをキャンプに招待するなど、活動を支援する目的のために用いられます。

昨年度は代替プログラム「ユニバーサル・チャレンジ・フェスタ」を実施し、約90万円の寄付金が集まり、チャレンジドの人たちを「ふじさんぼ」に招待しました。

また、障がいのある子どもたちのグループ活動に支援をしました。この大会が企業と市民の協働として年々県内に広がりをみせ、誰もが健康で幸せな暮らしができる社会づくりの一助となることを願い、これからもご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回ご案内いたします「第20回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン2025」は、競技への直接参加、寄付、広告、物品寄付、運営ボランティアなど様々な形での善意

のご協力に期待しています。競技の詳細につきましてはパンフレットをご覧ください。当日雨天でも実施しますが、豪雨や地震などで開催が無理な場合、再度開催は不可能なため、その時は既にいただきました参加費、寄付金、広告料、寄付物品などはチャリティーの対象とさせていただきます。チャリティーラン終了後、ご支援ご協力いただきました企業、団体、個人の皆様に速やかに当日の模様をご理解いただける報告書を送付させていただきます。

厳しい社会情勢下ではありますが、障がい児・者の笑顔のためにご協力を重ねてお願い申し上げます。

公益財団法人とちぎYMCA 理事長
第20回とちぎYMCAインターナショナル・チャリティーラン実行委員長

岡田 孝司

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2025 年度とちぎYMCA年間聖句

《善きサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章 25節～37節



認定こども園 さくらんぼ幼稚園
「 野外保育の様子 」



新しいクラスになり、初めての野外保育は宇都宮美術館へ行きました。
年長児は“文化の森”の中を歩き、花や虫・絵具のチューブを見つけることが出来ました。
自由遊びでは、小さいお友だちを気に掛け大きくなった年長さんの姿を見ることが出来ました。外で食べるお弁当は気持ち良かったです。

年長組担任 小野愛未



ようとう保育園
「 年中児ふじ組 大好きパラバルーン! 」

子どもたちは進級し、新しい環境にも慣れ、毎日あそぶ・食べる・寝るを全力で楽しんでいます。5月より運動会に向けた活動が始まりました。
特に毎日楽しみにしているのが、パラバルーンです。初めての練習では「これ知ってる!」「やってもいいの?」と、憧れだったバルーンに触れるとワクワクドキドキ。いざやってみると、大きく波打つバルーンに「すごーい!」と大はしゃぎでした。しかし楽しいだけではなく、技が難しかったり、みんなと息がなかなか合わず、戸惑う場面ありバルーンの持ち方や引っ張り方を確認したり、友だち同士教え合いながら少しずつ形になってきています。



一番大好きな技“テント”では、バルーンの中に入るとまるで秘密基地に入ったみたいで、いつも大きな歓声が聞こえてきます。その次の“シュークリーム”で徐々にテントが大きくなっていくところも見どころの一つです。上手にできるたびに、「ママとパパが見たらびっくりするかも!」と保護者の方に披露する期待感を膨らませています。
子どもたち一人ひとりの意欲や頑張りを認め、友だち同士協力することの大切さを感じながら引き続き練習を重ね、きつと本番では心一つにして最高の演技をお見せできることでしょうか。当日は会場にて、大きな拍手で応援よろしくお願いします。

ふじ組担任 中島菜緒・小林沙弥



子どもの家だより
～清原南小子どもの家 スマイルクラブ～
「 1年生を迎えて 」

スマイルクラブでは、4月に新たに31名の1年生を迎え、新年度がスタートいたしました。1年生の入学をいちばん楽しみにしていたのは、実は2年生たちでした。昨年の自分たちの姿を思い出しながら、1年生と一緒に遊んだり、ルールを優しく教えたりと、頼もしいお兄さん・お姉さんとして関わってくれています。
この時期は、子どもたちの心や体の成長をととても強く感じる季節です。「今年は子どもたちとどんな時間を過ごそうかな」と考えるだけで、私たちスタッフもわくわくしています。
「人生は思い出でできている」——そんな言葉のとおり、これまでの時間もこれからの毎日も、すべてが子どもたちの成長の記録だと思っています。たくさんの経験を通して、自分自身の力を育てていってほしい。そしていつか小学校生活を振り返ったときに、「子どもの家は、居心地がよくて、楽しくて、安心できる場所だったなあ」と、あたたかな思い出として心に残してもらえたら嬉しいです。
今年度も、そんな想いを大切にしながら、子どもたち一人ひとりと楽しく、安心して過ごせる日々をつくってまいります。



主任支援員 高橋美由紀



ひがしやまアトムクラブ
「 最近の様子 」



アトムでは、18名の新1年生を迎えた入学式から早くも1か月が経とうとしています。学童での生活にも少しずつ慣れてきたようで、毎日元気に過ごす姿が見られます。
お迎えの時間には、学校での様子についてたくさん話を聞かせてくれます。
「授業では何が楽しい?」と聞くと、「図工!体育!生活!音楽!」と元気いっぱいに答えてくれたり、「給食では何が好き?」とたずねると、「揚げパン!カレー!サバのみそ煮!」など、美味しそうに教えてくれたりと、学校生活を楽しんでいる様子が伝わってきます。
1年生は帰りの時間が早いため、2階の〈さっくり〉で過ごす時間も多く、〈さっくり〉の子どもたちが帰ってくるまで、追いかけてこをしたり、柔らかいボールを使ってキャッチボールをしたりと、元気に遊んでいます。
1階では、宿題をしたり、工作に夢中になったりと、それぞれの時間を楽しんでいます。中でも、1年生の女の子たちに人気なのが〈シルバニアハウス〉。おままごとをしたり、静かにマンガを読んだりして、落ち着いた時間も過ごしています。
そして、みんなが大好きな〈校庭の時間〉になると、1年生はブランコやジャングルジム、砂遊びに夢中です。高学年の子どもたちは、ドッジボールやバスケットボール、野球ごっこなどで体を動かして遊んでいます。ブランコでは、6年生の女の子に「お姉さん、押して〜!」と声をかけて、高く揺れるブランコに大喜びする1年生の姿がとても微笑ましく、見ていて思わず笑顔になります。
これからも、異年齢の関わりを大切にしながら、子どもたちが安心してのびのびと過ごせる環境をつくっていきたいと思います。

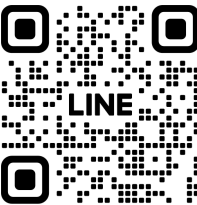
沢田 くみ子



宇都宮市青少年活動センター(トライ東)
「 地域とつながる、学びと交流の場へ 」



トライ東では、令和7年度も、地域の皆さまにご参加いただける多彩なプログラムをご用意しております。現在は、ヤングセミナーⅠ期として、ヘアアレンジ、ボクササイズ、資産運用、ヨガなど、暮らしに役立つ実践的な内容を中心とした5つのプログラムがスタートしています。また、月ごとに開催している各種プログラムも、多くの方に好評をいただいております。幅広い世代の交流や新たな学びの場として親しまれています。学びの場としてはもちろん、地域の皆さま同士がつながるきっかけづくりとしても、ぜひお気軽にご参加ください。
なお、本年度より、すべてのプログラムのお申込みはWEB受付に変更となりました。お申込みはとても簡単で、各プログラムチラシに掲載されたQRコードを読み取るまたは、専用リンクにアクセスし、申込みフォームに必要事項をご入力いただくだけで完了します。
また、トライ東の 公式LINEアカウント では、プログラム情報に加え、施設の空き状況や、毎月発行の「トライ東だより」の閲覧も可能です。最新情報をタイムリーにお届けしておりますので、まだご登録いただけていない方は、ぜひこの機会にご利用ください。



サマープログラムが始まります!

とちぎYMCAではこの夏も子どもたちの全人的成長を願い、サマープログラムを計画しております。YMCAのキャンプは、「為すことによって学ぶ (Learning by doing)」を理念とした野外教育活動です。その理念は、「どのような教育的な経験も、子ども(対象者)の興味・関心から離れていたならば、その経験は子ども(対象者)にとって本質的なものにならない。よって興味と自発性に基づいて子どもを導く」という考え方に導かれたものです。子どもたちは、友だちと一緒に自然の中でさまざまな活動をするによって、人間関係を学び、自然・社会への関心を深めていきます。YMCAでは、子どもたちが安全に、安心して、たくさんの自然に触れながら、仲間と一緒に思いっきり遊ぶことを通して、一人ひとりの豊かな成長を育みます。



6月27日(金) 12:30 より
申し込みスタート!

～宿泊キャンプ～

日光ほしぞらキャンプ (8/22-24)

ふくしま湖畔キャンプ (8/6-8)

さしまチャレンジキャンプ (8/26-27)

～デイキャンプ～

チョイス①日帰りプログラム (8/5)

チョイス②日帰りプログラム (8/21)

～2DAYS プログラム～

ICEP 2DAYS (7/29-30)

～ウェルネスプログラム～

短期水泳 1 期 (7/22-24)

短期水泳 2 期 (8/18-20)

宇都宮市まちづくりセンター “まちぴあ” です!

2025 年 4 月より、公益財団法人とちぎ YMCA が指定管理者として運営を行っている『宇都宮市まちづくりセンター (まちぴあ)』。今回は、まちぴあの最近の様子を皆さまにご紹介いたします。

「フェスタ my 宇都宮」を実施しました!



5 月 18 日、宇都宮市主催による「フェスタ my うつのみや」が開催されました。

このイベントにおいて、宇都宮市まちづくりセンター〈まちぴあ〉では、担当エリアの一角にて「まちぴあひろば」を運営し、事前に参加申請をいただいた登録団体の皆さまとともにブースを出展いたしました。

「フェスタ my うつのみや」は、ボランティア・地域活動団体、企業、行政など、宇都宮市を構成する多様な主体が、日ごろの活動や練習の成果を発表し、来場者との交流を通じて宇都宮の魅力を再発見することを目的としたイベントで、当日は多くの市民や団体の皆さまにご参加いただき、大変にぎわいのある一日となりました。

4 月より、公益財団法人とちぎ YMCA が新たに指定管理者として運営を開始し、まちぴあは新体制でのスタートを切っております。今回のイベントは、その新体制下での初めての大規模な外部参加イベントとなり、普段より研修室などをご利用いただいている登録団体の皆さまの活動の様子を、直接ご覧いただける貴重な機会ともなりました。

当日は、宇都宮城址公園全体にわたり、80 を超える多様な団体がブースを出展。前日までの雨も上がり、初夏を感じさせる陽気の中、多くの来場者の方々と楽しいひとときを過ごすことができました。

まちぴあブースでは、毎回ご好評をいただいているバルーンアートのプレゼントに加え、ぬりえコーナーなど、お子さまも楽しみながらひと息つけるスペースを設け、幅広い世代の皆さまにご参加いただきました。



フリー Wi-Fi を導入しました!



このたび、「情報展示スペース」がリニューアルいたしました。登録団体の情報や、まちづくりに関する書籍を引き続きご覧いただけるほか、新たに学生の皆さんの学習や作業にご活用いただけるテーブルを設置し、より利用しやすい空間となっております。

このスペースは、登録団体の方に限らず、どなたでも自由にご利用いただけますので、お近くにお越しの際はぜひお気軽にお立ち寄りください。

また、フリー Wi-Fi やコンセントも完備しており、快適な環境でお過ごしいただけます。皆さまのご来館を心よりお待ちしております。



とちぎ YMCA 会費ご寄付によるお支えのお願い

日頃より《とちぎYMCA》をお支えいただきましてありがとうございます。みなさまからの貴重な会費やご寄付のお支えに、心より御礼を申し上げます。

近年の YMCA は社会の課題や新しいニーズに応えるかたちで「こども園」、「保育園」、「放課後児童クラブ」、各種の「指定管理事業」、「高齢者介護事業」などの事業が増えてまいりました。これらは補助金や委託費、保険料など税で賄われる行政の資金を与えられることによって運営される事業です。中でも現在の《とちぎYMCA》は、そういった社会の資金で賄われる制度事業の“外側に新しい活動”を拡げております。

一例を申し上げますと、「居場所（親と子どもの居場所など）」の拡充や開催日の増設、高校生による「子ども食堂」継続のための支援、ボランティアスクールやリーダートレーニングをはじめとする「青少年育成事業」、豊かな体験の提供を主眼とした海外「スタディー・ツアー」や「シーズンのキャンプ」への青少年招待活動などです（今後は更にこの分野を拡げてゆきたいと思っております）。

官と民間の活動をあわせもつ YMCA ですが、みなさまからのご貴重な寄付は、フレキシブルで、創造的で、ボランタリーな部分を表現する最も YMCA らしい活動が、みなさまのお支えによって続けられますことに重ねまして感謝申し上げます。

【対象】

YMCA の活動に参加して下さる方であれば個人・法人に限らずどなたでもご入会いただけます。

【有効期限】

1 年度（4 月～3 月）

【会費】

A：5,000 円 B：10,000 円 C：30,000 円 D：50,000 円

【会員の方には】

☐ 機関紙「とちぎ YMCAnews」が年 10 回程度届きます。（メールでの受け取りも可能です）

*維持会員費のお支払いがない年度は停止されますが、機関紙のみをご希望される方は、とちぎ YMCA (028-624-2546) までお知らせください。

☐ 会員大会（任意参加）へのご招待

☐ 野外プログラムなど会員価格にてお申込みいただけます。

☐ 会費は寄付金控除の対象です。

【新規申込み方法】

☐ お電話（028-624-2546）資料をお送りいたします。

☐ ホームページより（QR コード）

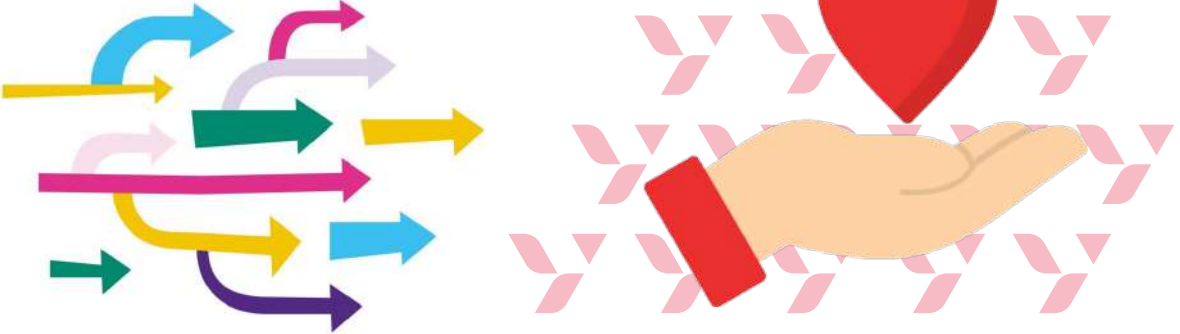
☐ 各 YMCA 事務所に

【継続申し込み】

☐ 維持会員費をお支払いください。

☐ ホームページより（QR コード）

☐ 各 YMCA 事務所に



月刊 # (ハッシュタグ)

第45回 #なにそれなにそれ

#手品はじめました

YMCA の幼稚園と保育園では園児に向けたお話しの時間があります（さくらんぼ幼稚園では『子ども礼拝』と云い、ようとう保育園では『こころのお話し』と云います）。いずれも聖書の内容に触れたお話しで感銘深いものにならない（感話というのだそうです）ので話しをする人は真剣です。4 月と 5 月はわたくしが当番でしたので、ために《手品》を取り入れてみました！

イエスさまが 5 つのパンを増やして5000人に配ったエピソードでは、空っぽの紙袋からメロンパン、オレンジ、バナナをつぎつぎに取り出しました。カナという地での披露宴でイエスさまが瓶の水をぶどう酒に変えたエピソードでは、新聞紙に注いだ水を消しました。

その際 ChatGPT に助言を仰いでみましたので、その内容を一部紹介します。

私：手品は幼児の教育にとってどのような意義がありますか、あるいはネガティブな要素はありますか？
ChatGPT：素晴らしい問いです。マジックは、幼児教育に次のような意義があります。

【ポジティブな意義】→①集中力・注意力の向上②不思議さや好奇心の刺激③コミュニケーション能力の育成④ストーリー理解・論理的思考の入り口、など

【ネガティブな要素・注意点】→①「騙された」と感じる体験になるリスク②迷信・オカルトへの誤解③年齢に合わない内容の危険、など。

手品を教育に取り入れるなら、「不思議さの楽しさ」と「気づき・考える力」を大事にし、ネガティブ面に配慮しながら進めることが効果的です。

ChatGPT：どういう場面やねらいで活用を考えておられますか？

私：こども園、保育園でのおはなしの場面です。

ChatGPT：なるほど、お話タイムや集まりの場面ですね。それなら次のような意義と注意点が特に当てはまります。

✓ 意義・効果的な活用

導入や場づくりに最適、物語と手品を組み合わせる・・・物語に手品を取り入れることで、世界観への没入感が深まります。物語理解・想像力を育てる支援になります。

△ 注意したい点

あくまで「楽しい不思議」として伝える・・・「先生は本当に魔法が使える！」と思込ませるのではなく、探求心を大切に全員が一緒に楽しめる形にし、「気づき力」「考える力」の大切さを伝える。

さて、さて、園児のみなさんの心に残ったものが何であったか気になるところです ^^

とちぎYMCA総主事
塩澤 達俊



高校生ボランティアグループ「つぼみ」 つぼみ通信 vol.20



高校生ボランティアグループ「つぼみ」は、地域の子どもたちや保護者の方々とふれあいながら、食やあそびを通して温かなつながりを育む活動を行っています。その代表的な取り組みが、「つぼみ食堂」です。



「つぼみ食堂」は、つぼみに所属する高校生たちが主体的に企画・運営を行い、調理や配膳、子どもたちとの交流を通じて、ボランティアとしての経験を深めるだけでなく、地域社会とのつながりの大切さを実感する場ともなっています。

高校生ならではのアイデアや明るい雰囲気が、参加する子どもたちや保護者の方々からも好評をいただいております。「つぼみ食堂」は地域に根ざした活動として、少しずつその輪を広げています。

2025 年度『つぼみ食堂』年間日程

- 2025 年 6 月 7 日 (土) 16:00 ～ 18:00
- 2025 年 7 月 19 日 (土) 16:00 ～ 18:00
- 2025 年 9 月 13 日 (土) 16:00 ～ 18:00
- 2025 年 11 月 15 日 (土) 16:00 ～ 18:00
- 2025 年 12 月 20 日 (土) 16:00 ～ 18:00
- 2026 年 2 月 7 日 (土) 16:00 ～ 18:00
- 2026 年 3 月 21 日 (土) 16:00 ～ 18:00

【開催場所】：宇都宮市青少年活動センター（トライ東）
宇都宮市今泉町 3007 番地 / 028-663-315

※「つぼみ」は、青少年活動センターを拠点に活動する高校生ボランティアグループです。学年や学校の垣根を越えたメンバーが集い、イベントの運営補助や自主企画など、さまざまな活動に取り組んでいます。

